

第375回:奇襲を受けた人々

軍事攻撃は、その攻撃手段や方法において、奇襲、急襲、強襲に区別される。

奇襲と急襲には多少の差違があるが似たようなもので、敵の予期しない時期・場所・方法により組織的な攻撃を加え、敵を混乱させ反撃の猶予を与えない攻撃方法を指す。

遠く本朝をとぶらへば、義経の一ノ谷、信長の桶狭間がこれに相当する。奇襲は敵に悟られぬよう小規模の部隊で実行する必要があるが、ときに日露戦争で仙台の第2師団が、敵陣の弓張嶺(遼寧省・遼陽市)に師団規模の夜襲を敢行し、露軍を駆逐した稀有な例もある。

一方強襲とは待ち構えている敵軍への正面攻撃を指す。例えばノルマンジー海岸のようなところに、砲台やバリケードで防御陣を敷く敵軍に対し、強襲揚陸艦、駆逐艦、潜水艦等で構成される遠征打撃群が迫り、揚陸艦から発進した攻撃機や、イージス艦から発射されたミサイルが敵陣を破壊した上で、揚陸艦の船腹から LCAC と呼ばれるホバークラフトのような上陸用舟艇が戦車や海兵隊員を積み込んで発進し、海岸に乗り上げ、敵を制圧するといった作戦だ。

米軍が6日、シリアのアサド政権に対して敢行したトマホーク59発のミサイル攻撃は、アサド政権もある程度は覚悟していた筈だから奇襲ではない。とは云っても強襲でもないので、急襲と呼ぶべきか。

奇襲を受けたのはシリアだけではなかった。このとき中国の習近平国家主席がアメリカを公式訪問中であり、トランプ大統領と大統領別荘のあるフロリダ州パームビーチで首脳会談を行っているさなかに、米国は巡行ミサイルによるシリア攻撃に踏み切った。即ち、大統領とティラーソン国務長官、マティス国防長官等の政権幹部は6日午後、大統領別荘で作戦会議を開き、習主席との晚餐会が開かれる少し前に攻撃計画は承認された。

そんなことをつゆ知らぬ習主席一行、大統領の5歳になる孫娘アラベラちゃんが、習主席夫妻のために中国語で歌を歌うなどの歓迎行事に大喜びし、歓迎宴は大いに盛り上がったようだ。そして宴会が終盤に差し掛かったとき、トランプ大統領が習主席に突如シリア攻撃の事実を伝えた。

「さきほど、私は化学兵器による攻撃の拠点となったシリアの飛行場に軍事攻撃を命じた。アサド政権が恐るべき神経ガスを用いて、無辜の男性や女子、子どもたちを多数殺害したのは断じて許せない」。

習主席が、そのときステーキをギコギコ切っていたのか、食後のコーヒーを飲んでいただけなのかは不詳だが、いずれにしてもリラックスして歓迎宴を楽しんでいた丁度そのタイミングで、驚天動地のニュースを大統領から聞かされた習主席は飛び上がったに違いない。

本来であれば、随員の汪洋副首相か、知恵袋の王滬寧政治局員を呼んで相談するところだが、歓迎宴で彼らが習主席の真隣に座しているとは限らない。トランプ大統領の「奇襲」を受けた習主席は思わず、賛同の意を伝えてしまったらしい。

ティラーソン国務長官によると、シリア・アサド政権への軍事攻撃について知らされた習主席は、「子どもが殺害されている時にそうした対応は必要だ」と述べ、「理解」を示したと明らかにしている。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

中国首脳が他国への軍事力行使を容認する発言を行うのは極めて異例なことであり、習さんは後で部下に叱られたに違いない。条件反射的な答弁を強いられた習近平さんに同情の余地はあるが、中国は8日になって、米軍のシリア攻撃につき習氏が、「当面の急務は情勢の更なる悪化を防ぎ、政治的解決のプロセス維持に力を尽くすことだ」と述べて、トランプ大統領に自制を求めたと明らかにした。

つまり一晩にして中国は、シリア、ロシア、イランと共に米国批判国となってしまったが、米中間には認識のズレがあるようだ。今となって真相は藪の中だが、興味ある習近平氏発言ではあった。

シリア攻撃に対する各国の反応は、各国の事情もあって、なかなか面白い。米国支持を鮮明にしたのは英国、「野蛮な化学兵器攻撃に対する適切な対応だ」。サウジも「トランプ大統領の英断」と旗幟を鮮明に。

独仏は共同声明で「アサド大統領に全ての責任がある」としながらも、米国支持とは云っていない。

秀逸なのは日本の対応だ。「化学兵器の拡散と使用は絶対に許さないと決意を支持する」。つまり日本の立場上、先制攻撃を支持するわけにもいかないのだから、「決意」を支持すると来た。優秀な外務省の官僚が練り上げた名文であり、米国にとっては、各国の反応の中で、英・サウジに次ぐ歓迎すべき声明であった。

トランプ大統領が米中首脳会談に向かう専用機のなかで「われわれは長年、中国との間でひどい貿易を強いられて不公平な扱いを受けてきた。会談では貿易について話すことになる。むしろ、北朝鮮についても話す」と語ったように、北朝鮮の核・ミサイル開発で緊張が益々高まっている朝鮮半島情勢を協議するさなかのシリア攻撃は、絶妙のタイミングであった。

米軍のシリア急襲に習近平国家主席が驚いたのは当然だが、更に驚いたのが北朝鮮の金正恩労働党委員長だろう。朝鮮半島をめぐる米中交渉で、「対話を通じた解決」を主張する習近平主席に対し、トランプ大統領は「北朝鮮に対する更なる圧力行使」を、「宗主国のような立場」の中国に要求している。

トランプ氏は別の機会に「中国が北朝鮮問題を解決しないのであれば、われわれが解決する」とまで言い切っており、今回米国は、シリアを超えてはならない一線(Red Line)を越えたら、即軍事力を行使することを、行動ではっきり示した。この意思表示は北朝鮮の核・ミサイル問題そのものである。

今回の米軍によるシリア急襲でアサド大統領は覚悟の上だから、そんなに驚かなかったはずだ。各国の指導者の中で、だれの肝っ玉と、もう一つのタマがちぢみ上がったかといえば言うまでもないだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年4月10日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

